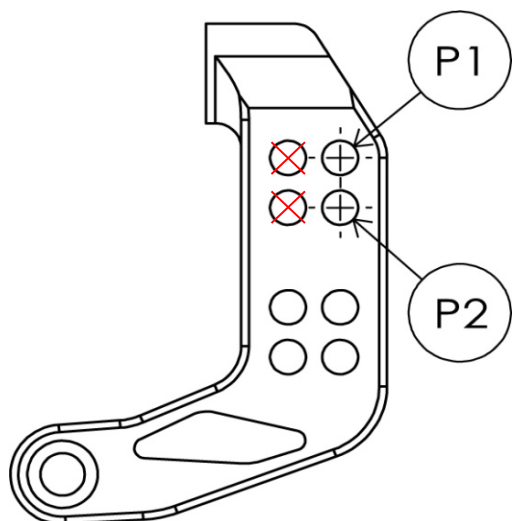


この度はアエラ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品の取り付けには重要保安部品周りの作業を含みますので、専門の知識・技術を持たれる方が作業に当たっていただく事をお勧め致します。

AE-10106

参考作業時間: 1h

**ポジション(純正比)**

カッコ内はステップバー取付が前方取付穴の場合。

- ・上: 10mm前、0mm下
(20mm前、0mm下)
- ・下: 10mm前、10mm下
(20mm前、10mm下)

※締め付けトルク: 18Nm

※ロックタイト243(中強度)

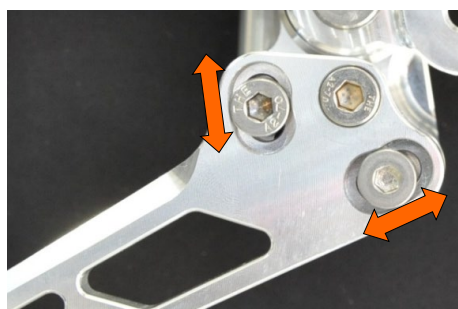
相当推奨

※前方取付穴はカウルに干渉する為、ブラインドボルトにて塞いであります。

**ステップバー取付位置変更**

- ・ステップバー取り付けボルトを取り外し、ステップバー偏心カラーを180度回転させます。
ステップベースに開けられたもう一方のネジ穴を使用する事でポジションを10mm前に変更する事ができます。

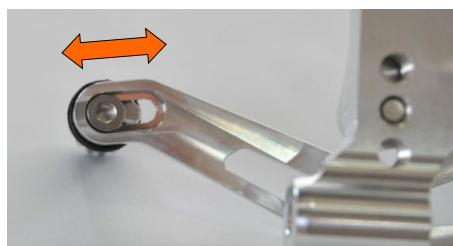
※ロックタイト243相当推奨

**チェンジペダル高さ調節**

- ・左図のボルト3本を緩め任意の高さで締め込んで下さい。
- ・出荷時から±12mmの範囲で調節する事が出来ます。

※高さの調節をする前にシフトロッドの長さ調節を必ず先に行ってください。
シフトが入りにくなる等の問題が起きます。
組み付け要項『1-C-3』参照。

※ロックタイト243相当推奨

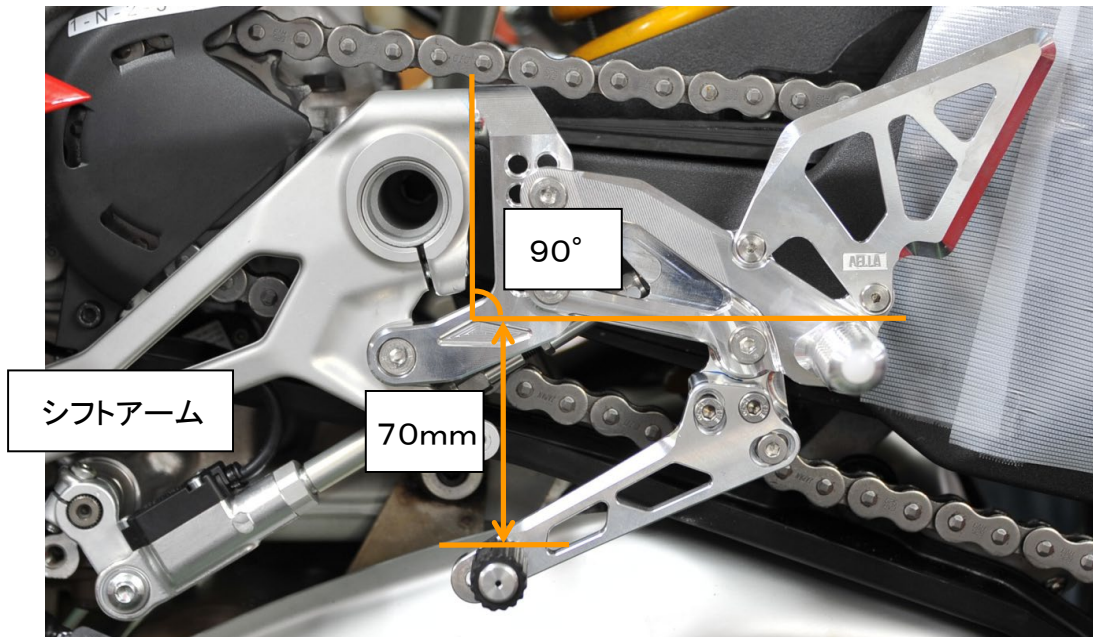
**ペダル先位置調節**

- ・任意の位置にスライド又は反転させることで、ペダルとステップバーとの距離を調節する事ができます。

※ロックタイト243相当推奨

※作業時は平坦な場所でメンテナンススタンドを使用してください。
 ※必要に応じてカウルを取り外して作業して下さい。

左(シフト)側



【A】純正のステップを取り外します。

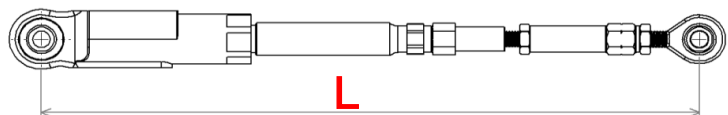
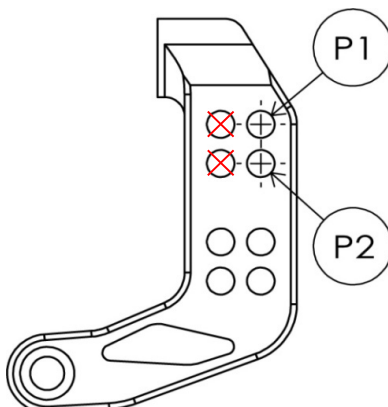
- 1) 左アンダーカウルを外して下さい。
- 2) クイックシフターの配線をカプラーから外して下さい。
- 3) シフトアームからシフトロッドを外して下さい。
- 4) ステップアッセンブリーを取り外します。

このとき、シフトロッドを養生テープなどで保護することで、フレームなどへのキズを防止して下さい。

【B】次に、シフトロッドをAELLA製の部品に交換します。

- 1) オートシフターから純正のシフトロッドを取り外しAELLA製品のシフトロッドへ付け替えて下さい。
 ※ネジロック剤は使用しないで下さい。
- 2) 下図を参考に大体の長さに調節して下さい。

②② ベースブラケットL



ポジション(純正比)		L	
		正チェンジ	逆チェンジ
P1	前10mm 下0mm	237mm	231mm
P2	前10mm 下10mm	228mm	222mm

【C】シフト側を装着します。

1) ベースブラケット L を車体に取り付けて下さい。

※トルク20Nm／ロックタイト243相当推奨

2) ステップアッセンブリーをベースブラケットに取り付けて下さい。

※締め付けトルク: 18Nmロックタイト243相当推奨

3) シフトロッドをシフトアームに装着します。

付属のピロカラー2mmを純正シフトアームとオートシフター間に使用して下さい。

各ポジションの基準としてステップバーとペダル先の上下幅を70mmになるようにロッドを回転調節してナットを締め固定して下さい(シフトアーム、シフトロッド、チェンジペダルアームの角度が最適化されます)

●ポジション変更時の注意点として、図の様にペダル調整範囲を必ず中心にした後にステップバーとペダル先の上下幅を70mmに調整固定した後、ペダル先高さを変更調整して下さい。

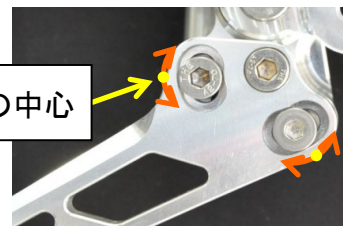
※フレームとベースブラケットの間の作業にはKTCプロフィットツールスパナ「S30-10」推奨。

※前頁上図の様にベースブラケットの取付面とステップバー上面を90° にして計測して下さい。

※締め込んだ際、ロッドエンドが横を向かない様、注意して下さい。

※シフトロッドのネジ部分の勤合は7mm以上確保してください。

調整範囲の中心



4) その後に、ペダル先を±12mmの範囲で変更調整して下さい。

5) リアタイヤを手で回転させながらギアチェンジを行って、ギアの入りや干渉などをチェックして下さい。シフター部分が少し延びる構造ですので、チェック時はこのことも考慮に入れて下さい。

※特にサスペンションがストロークした際の干渉にご注意下さい。

6) 最後にヒールガードを装着して下さい。



逆チェンジ仕様

- ・逆チェンジ仕様にするには、チェンジペダルアーム裏側のロッドエンドを左図○印へ変更してください。この際、ピロカラー3mmを付属の**M6ワッシャー**へ変更して下さい。
ネジは同じものを使用して下さい。

※ロックタイト7649相当(硬化促進剤)+ロックタイト263相当推奨

注意点: この部分のネジは特に緩みやすいので、正→逆、逆→正に変更する際は、必ずネジロック剤を使用するとともに緩みがないか適時チェックして下さい。

右(ブレーキ)側



【A】純正ステップを取り外します。

- 1) 右アンダーカウルを外して下さい。
- 2) リアマスターシリンダーを固定しているボルトを外しマスターシリンダーを養生テープ等で邪魔にならない場所に避けて固定して下さい。
- 3) 純正ステップを取り外して下さい、ストップスイッチも取り外して下さい。
- 4) ブレーキプッシュロッドをエンドアイから取り外してからエンドアイをペダルから取り外して下さい。
※エンドアイ、エンドアイ取り付けボルトは再使用します。

【B】ブレーキ側を装着します。

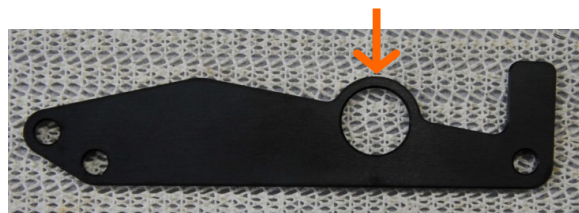
- 1) V4/V4Sに取り付ける際は純正の四角いゴムカバーを、V4Rに取り付ける際は純正グロメットを本製品に取り付け、付属のグロメットカラーL6、ボタンボルトM5L30を使用して下さい。
 また、アルミカラーを取り外し、代わりにワッシャを挟みボタンボルトM6L10を使用して下さい。

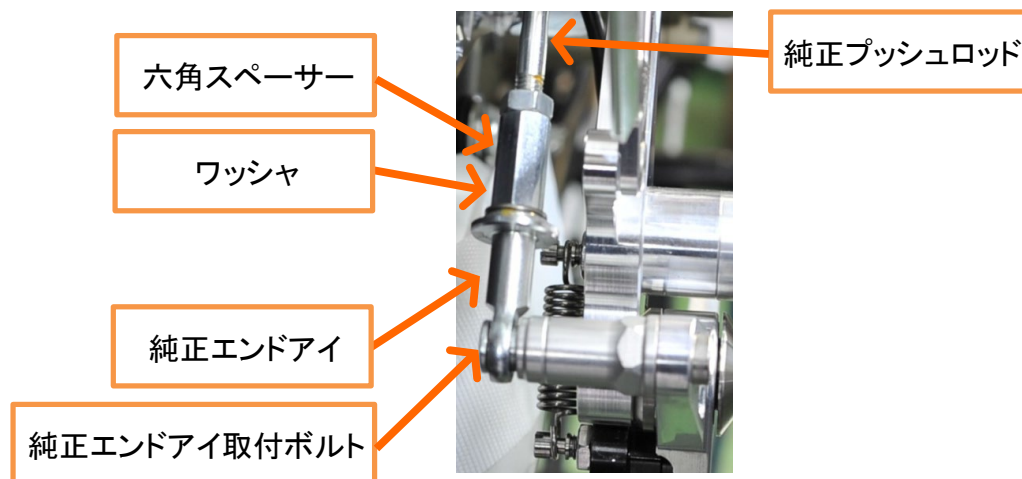
※トルク20Nm／ロックタイト243相当推奨

V4/V4S



V4R





2) 純正エンドアイを取り付けて下さい。

※エンドアイ取付けボルトの胴部分にはグリス、ネジ部分にはロックタイト263相当を塗布して下さい。

3) ワッシャ、六角スペーサー、純正プッシュロッドを取り付けて下さい。

4) ステップベースに付属のSUSワッシャを挟みストップランプスイッチを取り付けて下さい。

※スイッチのコードに無理な負荷がかからない様に固定バンド等を一旦外したぐり寄せて下さい。

5) ステップアッセンブリーをベースブラケットに取り付けて下さい。

※トルク18Nm／ロックタイト243相当推奨

6) ブレーキペダルストッパーを回転させペダルの高さを調節し、しっかりと固定して下さい。

それに合わせてプッシュロッドの長さを調整して下さい。

※遊びの量が適切でないと、ブレーキのロックやエアかみの原因となります。

※プッシュロッドとロッドエンドのネジ部の勘合は10mm以上必要です。

7) 調整が完了したら、ブレーキ及びストップランプの作動と各部干渉などのチェックを行って下さい。

※最後にアンダーカウルを取り付け、各部の干渉をチェックしてください。

※初回走行後を含め、定期的に動作やネジの緩みなどを点検し、必要に応じて増し締めや調整を行ってください。

※何か問題が発生した場合は、速やかに使用を中止し、カスノモーターサイクル AELLA事業部までご連絡下さい。



取り付けにあたってのご注意

- ・走行直後は、各パーツが熱くなり火傷の危険性があります、必ず冷えている状態で作業を行って下さい。
- ・作業は必ず安全な場所で車体を安定させ、十分注意して作業を行って下さい。
- ・メンテナンス不良、取り付け作業上の不備、誤った使用での保証は致しません。
- ・本製品の取り付け後の返品はお受けできません。
- ・金属部品のエッジ、角などには注意して下さい。
- ・部品の曲がり、変形などが発生した場合は速やかに補修を行って下さい。
- ・組み付け作業を行う際はメーカー発行のサービスマニュアル(整備要領書)を熟読して下さい。
- ・各ネジの参考締付トルクはM5(約3～約3.5Nm)、M6(約5～約6Nm)、M8(約10～約12Nm)です。

※締め付け参考トルクはネジが緩まない事を保証するものではありません。

※取り付け後、走行中の振動によって必ずネジは緩みます定期的に点検、増し締めを行って下さい。

アルマイト製品について

- ・アルミニウムの表面を電気化学的に酸化させ、皮膜を生成させたものです。
 - ・着色アルマイトについては塗装の様な微妙な調色はできません。また使用するアルミの材料によっても色が違ってきます。
 - ・着色アルマイトは、紫外線、熱、薬品、洗剤などの要因で色褪せやひび割れが発生します。
 - ・アルマイト厚みは、0.005mm～0.02mmと非常に薄い為、部品同士が擦れる箇所や乗車時にブーツが擦れる箇所での摩擦で下地のアルミ表面が現れます。
 - ・アルマイト処理を行う際に部品を保持する部分(接点)には色が付かない場合があります。
- 以上はアルマイト処理の性質で避けられない為、クレーム対象にはなりません。予めご了承下さい。